

議題1 長寿応援バス事業の課題について

1. 利用料金（運賃）の支払い方法が現金であること

- ① 支払方法が現金（150円）であることが不便だとの意見がある。
（小銭の準備、両替の手間）
- ② 乗務員による乗車証の確認や両替対応が必要となり、路線バスの定時性、安全性の確保に影響を及ぼしている。

2. 利用実績の正確な把握ができないこと

- ① 委託料の算定に用いる「平均運賃」は、ワンコインバス専用磁気カード導入時（H18～H22）のデータであり、現状と乖離している可能性がある。
- ② 委託料の算定に用いる「利用回数」は、月4回（平日2回、土日各1回）の乗務員調査による推計値であり、正確な実績が把握できていない。

【参考】長寿応援バス事業の委託料の算定方法

$$\text{委託料} = (\text{平均運賃} - 150 \text{円}) \times \text{利用回数} + \text{事務手数料}$$

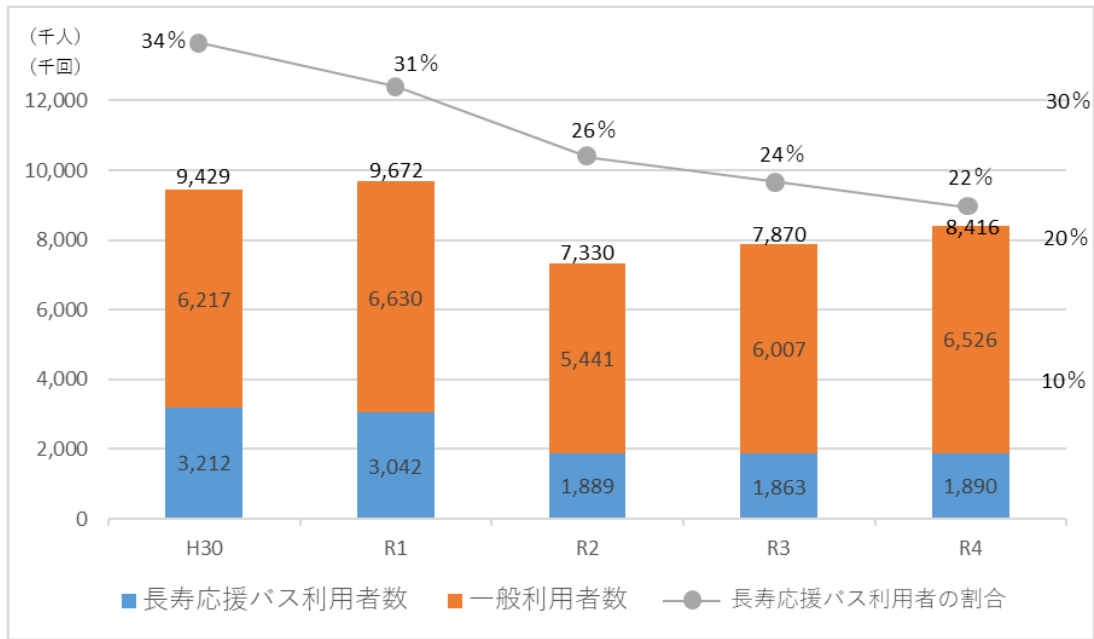
3. 令和2年度以降、利用回数が大幅に減少していること

- ① 対象年齢の引き上げ、利用料金の見直しにより、利用回数が減少すると見込んでいたが、コロナ禍の影響もあり、令和2年度以降、利用回数が大幅に減少している。
- ② 路線バスの一般利用者と比較して、長寿応援バス利用者の利用回数の戻りが鈍い。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したにもかかわらず、令和5年度も利用回数がほぼ横ばいの状況である。

4. 対象者数・乗車証交付者数の増加、事業費の増加が見込まれること

- ① 高齢者の増加に伴い、対象者数と乗車証交付者数の増加が見込まれる。
- ② ①に伴い、事業費の増加が見込まれる。

【参考】大分市の路線バス利用者の推移と長寿応援バス利用者の割合



【参考】事業対象者数、乗車証交付者数等の推移と推計

事業対象者

高齢者ワンコインバス

年度	事業対象者数 (年度末高齢者人口)			乗車証 交付者数 (人)	利用料金 (円)	利用回数 (回)	委託料 決算額 (千円)
	65歳以上 (人)	(経過措置) (人)	70歳以上 (人)				
H16	79,100	—	56,224	33,666	100	—	200,000
H17	82,004	—	58,471	39,875	100・200・300	382,305	300,110
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

H23	99,090	—	71,749	53,461	100	2,367,232	260,000
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
H29	124,491	—	87,017	95,395	100	3,295,111	308,572
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

長寿応援バス

R元	129,177	—	95,942	98,784	100 (10月より150)	3,042,044	348,268
R2	131,717	(66歳以上) 125,404	99,462	96,574	150	1,888,876	198,206
R3	133,435	(67歳以上) 121,144	102,146	93,882	150	1,862,977	218,489
R4	134,169	(68歳以上) 116,469	104,265	90,865	150	1,889,615	222,055
R5	—	(69歳以上) 111,574	—	—	150	2,627,503	306,421
R6	—	—	107,229	—	150	2,525,181	294,592
R7	—	—	108,760	—	150	2,561,235	298,760
R8	—	—	110,218	—	150	2,595,571	302,729

※令和5年度以降は、令和元年度を基準として令和2年度以降も事業者対象者1人当たりの利用回数が同程度であると仮定した場合の推計値